



下水道処理の拡張計画を問う。

町長 現在第5系列を工事中であり、平成21年度末には稼動の予定である。県からは平成26年度には処理能力が不足するため、増設工事の必要があると聞いている。

総合運動公園用地の借用は、平成21年3月末までとなっている。

が切れるとはわ
たはずだ。公園移
聞かかれると思
はないか。

と月時点での借用期限が決まっていることはわかっています。公園移設には時間がかかると思うが、問題ないか。

総合運動公園が使えないくなる事態は避けなければならない。層の努力を求める。

町長町に不便を
かいとを念頭に、早急にをめる。

昨年1月、県か汚泥の炭化に関する技術紹介がつたが、公害防止定では、すべての汚泥は外搬が絶対条件となつてゐる。この問題をのよひに認識しているか。

町長 地元住民に従事していきたい。
公害防止協定では、県による水質検査の結果の報告が義務化されているが、町長 報告され、いる範囲は、問題大きい。大きな処理場を持つことは、水質検査能力を持つべきではないか。

町長 一年に一度、業者に託し、実施

10 of 10

町の公民館活動の審議、企画・運営はどこで？

中里 知恵子



Q 公民館活動の評価と活動内容の検討、お母体はるのか。
A 教育長 以前は、文化センター条例の中で、公民館運営が義務付かれました。しかし、社会教育法の改正もあり、平成15年に条例改正を行い、今後の公民館運営は、公社教育委員会に席し、社会教育に関する意見を述べたことがあります。

Q これまでに、社会教育委員会に出席し、社会教育に

Q (仮称) 総合福祉セ



自律のための「玉村町総合基本計画」を策定せよ

三友 美恵子



Q 今年一月の選挙の結果、の自律が支持された。町民の安心安全のためしてと民が体となって進める働くまちづくりのため、しっかりととした総合基本計画を早く策定する必要があると思うか。
A 町長 を安定させ、今を大事にしながら、第4次総合計画を検証し、しっかりと

Q の施設のユニバーサルデザインの取り組みは。
A 町長 今後計画する施設はもちろんの既存の道路、公共施設も可能限り改良を行ついく。また心のバリアフリーについては、正しい知識の啓発をする。

Q サルデザインの取り組みは。
A 町長 今後も、洋式トイレの増設、段差の解消など、利用者に優しい施設を指す。学校教育では、差別偏見のない社会の実現に向かって心の教育を計画的にめぐらす。生涯学習課でも、幅広いテーマで人権の啓発・周知を図っていく。

